

令和3年1月期 第1四半期
決算説明資料

バリューゴルフ
VALUE GOLF

株式会社バリューゴルフ

令和2年6月12日



JPX

東証マザーズ上場

証券コード：3931

第1四半期における 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響について

新型コロナウイルスの影響、並びに当社グループの 取り組み（ゴルフ事業）

経営環境

- ① 3月中旬以前の影響は限定的
- ② 3月中旬以降、活動自粛等によるプレー数減少の兆しやゴルフ場の休場が発生
- ③ ゴルフ場はスループレーへの切替・浴場やレストランの閉鎖等の対応
- ④ 緊急事態宣言後、ジープ社店舗への来客減
- ⑤ VG大崎への営業自粛要請

当社グループの対応

- ① 店舗接客時のマスク着用、一部店舗・レッスンスタジオの休業
- ② 1人予約ランド・EC通販等、比較的影響の少ないゴルフ事業への注力
- ③ 従業員の一時帰休実施
- ④ 販売済みプレーチケットについて、ゴルフ場へ期限延長要請

新型コロナウイルスの影響、並びに当社グループの取り組み（トラベル事業）

経営環境

- ①世界的なロックダウンの実施。日本国内は外出自粛、越県自粛による出張取りやめ
- ②航空会社等交通機関の運休・減便
- ③入国制限措置による訪日外国人・出国日本人・在日外国人帰国の減少

当社グループの対応

- ①在日外国人一時帰国のための航空券手配、およびキャンセル対応
- ②募集企画旅行の中止
- ③従業員の一時帰休実施
- ④政府・都道府県等の各種給付金等への対応。今後の状況に迅速な対応をとるためのキャッシュポジションを確保
- ⑤新型コロナウイルス感染症収束後に向けて、政府主導の消費喚起プロモーションに対応したツアーの計画立案準備

令和3年1月期 第1四半期

経営成績ハイライト

業績ハイライト

令和3年1月期 第1四半期決算概要

売上高

1,175百万円 前年同期比 17.4%減



営業利益

△5百万円 前年実績 0.7百万円増



ゴルフ事業

売上高

796百万円

前年同期比
3.1%増



営業利益

102百万円

前年同期比
4.2%増



1人予約ランドが引き続き好調に推移し、EC通販が店舗の売上のマイナス分をカバーいたしました。

トラベル事業

売上高

365百万円

前年同期比
42.4%減



営業利益

△25百万円

前年実績
△17百万円



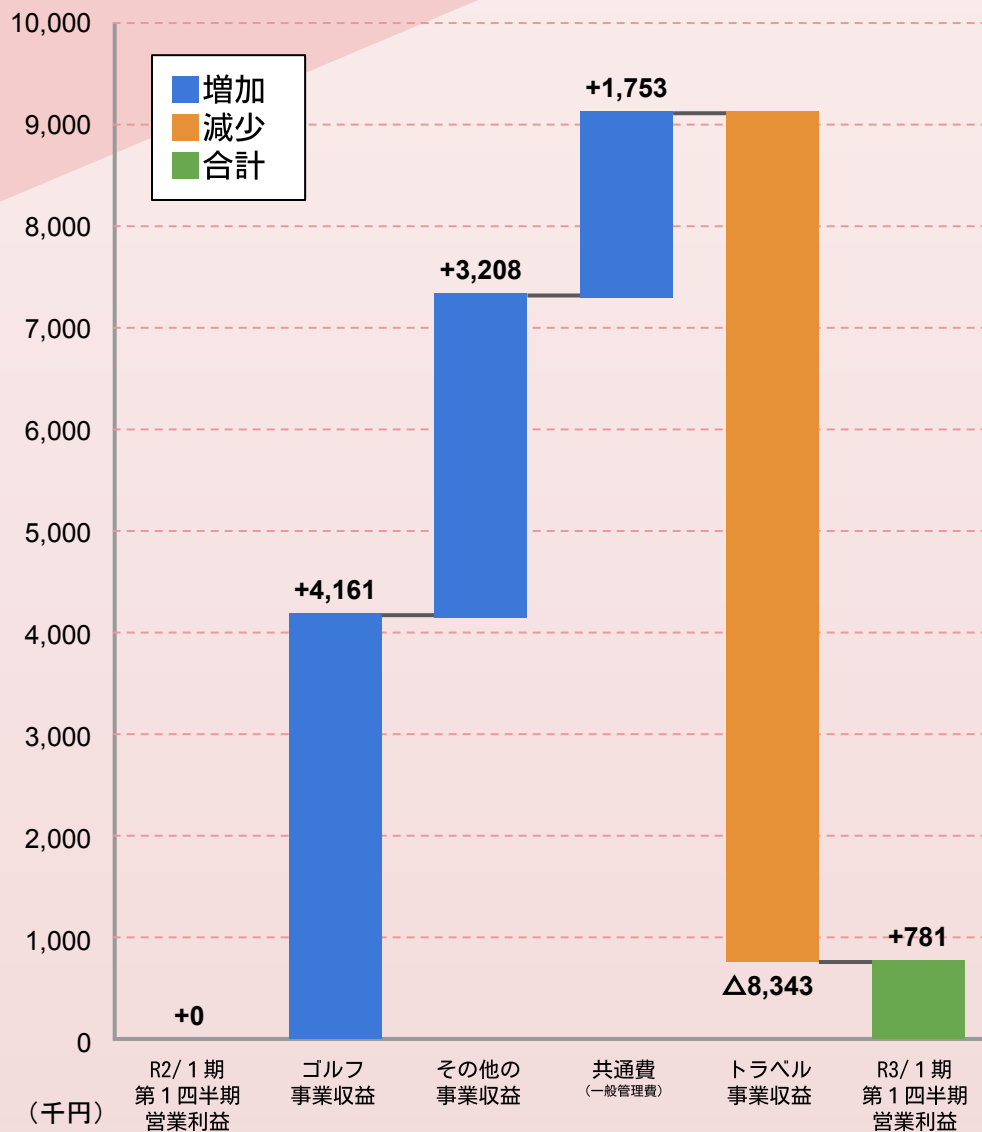
前期から実施しているリストラクチャリングの効果により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を低減しました。

損益計算書

単位:百万円

	令和2年1月期 第1四半期	令和3年1月期 第1四半期	増減額	主な要因
売上高	1,423	1,175	△248	トラベル事業は売上が減少したものの、ゴルフ事業は堅調に推移いたしました。
売上原価	1,112	870	△242	トラベル事業の売上減に伴い、原価も減少いたしました。
売上総利益	311	305	△6	
販売管理費	317	311	△6	
営業利益	△6	△5	+0	好調なゴルフ事業とトラベル事業の経費削減効果により、前年並みとなりました。
経常利益	△11	△5	+5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△16	△18	△2	

利益の増減分析



主要要因

■ゴルフ事業

1人予約ランド・インターネット通販が牽引し増益

■その他の事業

メディカル事業のリストラクチャリング推進が奏功し、増益

■共通費

コスト削減の推進

■トラベル事業

COVID-19の影響により減益

連結貸借対照表

	令和2年1月期 第1四半期	令和3年1月期 第1四半期	増減額
流動資産	1,805	1,851	+46 (①)
固定資産	424	393	△31
有形固定資産	42	44	+1
無形固定資産	147	132	△15 (②)
投資その他の 資産	233	216	△17
資産合計	2,229	2,245	+15

	令和2年1月期 第1四半期	令和3年1月期 第1四半期	増減額
負債合計	1,178	1,231	+52
流動負債	966	1,053	+86 (③)
固定負債	212	177	△34
純資産合計	1,050	1,013	△37
株主資本	1,048	1,011	△36
その他	2	2	+0
負債純資産合計	2,229	2,245	+15

主な要因

- ①商品の増加、旅行前払金の減少
- ②のれんの償却

- ③短期借入金増加（キャッシュポジションの確保）、旅行前受金の減少

令和3年1月期 第1四半期

事業の概況

事業の概況－ゴルフ事業

1 人予約ランドの状況

会員数

65.3万人
(前年比19.8%増)

新型コロナウイルス感染症に関する外出自粛があったにもかかわらず、会員数の増加率は好調を維持いたしました。

新しい
生活様式

「3密」を回避できる
スポーツとして注目

スループレーを基本とした予約枠の増加により、「人との接触」が少ないスポーツとして評価されました。

事業の概況－ゴルフ事業

ゴルフ用品販売

店舗の休業

都内3店舗の
休業・時短営業

東京都からの休業要請により都内3店舗を休業・時短営業としましたが、ECサイト（通販）は通常通り営業しました。

ECサイト
売上高

前年同期比
18.8%増

外出自粛の影響により、通販は好調を維持。店舗の減収をカバーいたしました。

事業の概況ートラベル事業

**航空券
販売**

**航空会社の
減便・運休の影響大**

出張等の渡航手配のキャンセルがあいつぎ、売上は大幅な減少

**企画型
旅行**

募集の中止

募集中のツアーは全て中止。
新型コロナウイルス収束後に
国内企画として再募集予定

事業の概況－その他の事業

**広告制作
受注状況**

**4月以降
受注減**

出稿元の売上減少の打撃を受け、媒体への掲載依頼が減少しました。

**メディカル事業
収益力改善**

**人員配置及び
コスト構造の
見直し**

収益改善のため、人員配置やコスト構造の見直し等リストラクチャリングの推進。

令和2年1月期

通期連結業績予想

業績予想

最近の業績動向を踏まえ、令和3年1月期の通期業績予想を精査した結果、業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。トラベル事業は回復基調にあります。今後の動向を注視し算定可能となりましたら改めて公表いたします。

	期初予想	修正予想(未定)
売上高 (百万円)	6,000	—
営業利益 (百万円)	140	—
経常利益 (百万円)	120	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	80	—

将来見通しに関する注意事項

本資料の取り扱いについて

本資料において記述される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特にサービスに関連した見通し情報に存在します。リスク、不確実性には、当社の関連する業界動向、技術的進歩、その他内部・外部要因、サービスの安全性ならびにクレームや懸念、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、サービス開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。従いまして実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承下さい。





本資料の著作権は株式会社バリューゴルフにあります。本資料の内容の一部または全部における無断転載を固く禁じます。
本資料に関するお問い合わせは 当社IRグループ (ir-inquiry@valuegolf.co.jp / 03-6435-1535)までお願いします。



東証マザーズ上場

証券コード:3931